

## 患者さまへのお知らせ・お願い

### □ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 11月20日(月) Y's Singers (うたのコンサート)
- ◆ 29日(水) Happy Together (うたのコンサート)
- ◆ 12月8日(金) 豊島 郁子さん他 (ピアノ演奏会)
- ◆ 25日(月) 中川 順子さん他 (クリスマスコンサート)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

## 医療安全のお知らせ・お願い

北部病院の医療安全活動について多くの方へ理解していただく為に、病院だよりにおいてその活動内容をご案内していきます。今回は第1回目ですが今後定期的にお知らせをさせていただきます。

### 医療安全対策について

昭和大学横浜市北部病院では理念である「無事故の病院になる」を達成するために、積極的に医療安全活動を実施していきます。医療事故(アクシデント)を防ぐためには、その原因になる、ヒヤリ・ハット事例(インシデント)の対策が重要となります。アメリカの技師ハインリッヒが発表した法則があります。そのハインリッヒの法則では、「1件の重大災害(死亡・重傷)が発生する背景に、29件の軽傷事故と300件のヒヤリ・ハットがある。」と分析されています。そこで医療安全室ではこれを警告として、安全活動を実施しています。私どもは、ヒヤリ・ハット事例の対策を実施して行くことによって29件の軽傷事故、1件の重大事故を無くすようにしたいと考えています。そのためには、病院職員が医療安全を心がけることはもちろんですが、患者さんにも参加していただき、取り組んでいくことが必要と考えています。

### 安全標語(定期的に見直される医療安全対策の標語です)

平成18年10月11日から『患者さん誤認ゼロでいこうヨシ!!』を安全標語として様々な防止対策を実施しています。具体的にはポスターを作成し患者さんと病院スタッフに名前や生年月日を確認することを徹底していただきます。まずは外来の運用を徹底した後、入院や他の部門等にも広めて行きたいと考えています。患者さんの名前や生年月日を確認することで、患者さんの間違いを減らすことが出来ます。患者さんを間違えて処方箋が渡されたり、検査が実施されると、間違ったお薬の服用してしまったり、間違った検査結果を元に治療がされてしまったりする可能性があります。また、それらによって、重大な副作用や障害が発生する可能性もあります。患者さんには、自ら氏名を名乗っていただいたり、診察券を提示していただいたり、受け取った書類のお名前等を確認するなどのご協力をお願いします。実施方法等は常に見直されますので詳しくは外来等に掲示しているポスターをご覧ください。

### 医療安全に関するお問い合わせ

窓口：総合案内(平日8:00-12:00) それ以外の時間帯各科受付  
電話：医療安全管理室 045-949-7000  
※ご意見等は「リスク提案カード」にお書きください。

### 編集後記

外は連日の雨で、1日の最低気温が12度と、今年は寒さが早く来たような気がします。旧暦11月は霜月(しもつき)と呼ばれ、文字通り霜が降る月の意味だそうです。季語は紅葉です。英語での月名、Novemberは、「9番目の月」という意味があるようで、これは、紀元前46年まで使われていたローマ暦が3月の月計算のため、3月から数えて9番目ということらしいです。以上が11月の豆知識でした。

いずれにせよ、病気が多くなる季節です。皆様、風邪などひかないよう、適度に体を休め(無理ですか?)ましょう。では一句、物いへば唇寒し秋の風、芭蕉でした。

広報委員会 委員 三浦 宮子

北部病院だより 第43号

平成18年11月10日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

# 北部病院だより 第43号

第43号【2006/11/10 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

### ●巻頭言

『酸素について』

呼吸器センター 助教授 鹿間 裕介

### ●イベント情報

公開講座

### ●医師の配属・異動・退職

### ●診療統計

### ●外来担当表

### ●患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

### ●患者様からのご意見・ご要望



街の街路樹も公園の草木も、紅葉本番!!!

## 巻頭言

### 『酸素について』

あたりまえのことですが、外来の診察は患者さんが診察室に入ってこられたときから始まります。待合室の遠くの端から小走りに入ってこられる方、ぜいぜいしながら肩で息をしている方、検査結果が心配で不安な表情で入ってこられる方などさまざま、このときの第一印象はその後の診察に大変重要な要素となります。呼吸器外来では聴診もさることながら血中の酸素量を測ることがよくあります。洗濯ばさみのようなものを指先につけて動脈血中の酸素飽和度を測る方法(パルスオキシメーター)です。初めての方で“血压計ですか”と聞かれることがあり、“酸素を測る器械です”とお答えすると、“便利なものですね”という返事が返ってくることもあり、本当にその通りだと思います。私が医師になった20年前にはこの方法はなく、一回づつ動脈に針を刺し採血をして測定していました。重症の患者さんの呼吸管理の際には夜中でも30分おきに採血することがしばしばあり、医者は“体力の勝負だなあ”と感じていました。現在はこのパルスオキシメーターをつけるだけで24時間、リアルタイムに血中酸素の状態を知ることができ大変便利になっています。この方法で測った酸素の指標は97%以上が正常であり、92%を下回ると酸素投与が必要になります。93%~96%では、じっとしていると何でもないが坂道などを歩くと息苦しくなるという症状がよく聞かれます。喘息発作などのように急に起こる呼吸困難ではこの酸素飽和度が90%から95%でもかなりの呼吸苦として感じられます。



呼吸器センター  
助教授  
鹿間 裕介

一方、徐々に低酸素が進む病気、たとえば肺気腫、ではその進み方が非常にゆっくり(年単位)であるために呼吸苦を感じないですんでしまうことがあります。中には80%台でも平気でゴルフをされたりする“つわもの”がおられます。ゆっくり進む低酸素では呼吸困難感を伴わない“慣れた状態”があります。しかし酸素を特に必要とする臓器、たとえば心臓は次第にくたびれてきて、心不全という状態となり、生命の危機に陥ることがあります。慢性的な呼吸不全の方に酸素を吸っていただく目的は、呼吸苦をとるということよりも、この心不全を予防することにあります。事実、酸素療法で寿命を延ばすことが証明され、日本では1985年より在宅酸素療法(HOT)が保険適応となっています。それまでは単に酸素を吸うだけのために長期入院を余儀なく強いられた方も多く、この方法は慢性呼吸不全の患者さんにとっては大きな福音となっています。最近では酸素を吸いながら国内はもとより海外までも旅行が可能となりQOL(生活の質)の向上にも大きく貢献しています。しかし中には在宅での酸素療法には抵抗を感じる方もおられます。酸素は終末期に行う治療“酸素を吸うようであれば余命いくばくでもない”といった誤解をされていることがあり酸素療法の必要性について理解していただくために時間を要することがあります。酸素は生きていくために必要なものですが、決して無害というわけでもありません。酸素中毒という言葉があるように、過剰な活性酸素は急性の肺障害を起こすことがあり、人工呼吸器装着時などではできるだけ投与酸素量を減らせるように機械の設定を工夫します。また血中の二酸化炭素(CO2)濃度が高い慢性呼吸不全の方では、むやみに酸素投与量を増やすと意識がなくなったり、呼吸が弱くなり場合によっては呼吸停止を来すこと(CO2ナルコーシス)があります。薬に処方箋があるように酸素療法にも処方箋があり、その方にあった量を、安静時や歩行時などの状況に応じて変更したりします。酸素は病気になった肺そのものを治療するものではありません。しかし症状を軽減し、合併症を予防する上ではなくてはならないものです。携帯用酸素ポンベを引き、足どり重く診察室に入ってこられる方が、診察室を出るときには少しでもそのポンベが軽く感じられるように日々の診察を行っていきたいと思っています。

# 北部イベント

## 昭和大学公開講座

10月28日(土) 西棟4階講堂におきまして、昭和大学横浜市北部病院秋季公開講座を開催いたしました。

演題1:『人がたおれた! さあどうする!!』

～町中で行う心肺蘇生: AEDの使い方～

池田 尚人 助教授 (脳神経外科)

演題2:『メタボリックシンドローム』

～正しい理解と対策～

辻 正富 教授 (内科)

という2部構成での開催となりました。

今回の演題は、前回の公開講座聴講者より、「こんな講演、聞いてみたい」とアンケートに寄せられた中から、希望の多かった演題での開催となりました。

当日は63名の参加者があり、盛況の開催となりました。

池田助教授の講演では、意識を失って倒れている人への早急な救命の必要性、除細動についての説明や救命の手順の説明を中心に、実際にデモンストレーションを行い、受講者の方にも心肺蘇生とともにAED(自動体外式除細動器)を体験していただきました。会場は臨場感に包まれました。

辻教授の講演では、内臓脂肪型肥満による生活習慣病(高血圧、高脂血症、糖尿病など)の合併、さらには動脈硬化による心血管系疾患(心筋梗塞、脳梗塞など)へのリスクについてを中心に、メタボリックシンドロームの診断基準や治療法として「食事療法」と「運動療法」があげられました。

「鶴は千年、亀は万年、元気で長生きしましょう!」という辻教授からのメッセージで今回の公開講座は終了しました。

また、聴講された方からいただきましたアンケートをもとに、次回の公開講座開催の準備を進めていく予定です。詳細が確定しましたら、この病院だよりや病院掲示板等にてお知らせいたします。



池田助教授 講演風景



辻 教授 講演風景

## 医師の配属・異動・退職

### 新規配属医師

11/1付【10/2~11/1】

【新規採用】

児玉 健太 (消化器センター)  
新潟大学  
平成15年卒

### 異動・退職医師

11/1付【11/1~11/30】

【長期出張】

□ 細谷 寿久 (消化器センター)

【退職】

□ 島本 久美子 (耳鼻咽喉科)

## 診療統計

2006年9月統計データ( )内は1日平均

診療実日数 入院...30日 外来...24日(9月)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
9月	30,335人(1,264.0人)	17,095人(569.8人)	369件(12.3件)	471件(23.6件)

# 外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。  
平成18年11月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初診)	医局員(初診)	中島宏昭(紹介初診)	中島宏昭(再診)	鹿間裕介(初診)	鹿間裕介(再診)	笠原慶太(初診)	北見明彦(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)
	北見明彦(再)	笠原慶太(再)	笠原慶太(初)	医局員(初)	中神和清(再)	北見明彦(再)	笠原慶太(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)		
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子(第1,3)	請川淳一	請川淳一		里館 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員
	小林泰俊	小林泰俊	井上晴洋	井上晴洋	乾 正幸	乾 正幸	長山裕之	為我井芳郎(1)	春日井尚	春日井尚	木田裕之
	斎藤由理	出口義雄	櫻田博史	櫻田博史	医局員	遠藤俊吾	医局員	和田祥城	池原伸直	池原伸直	里館 均
				工藤恵子		日高英二	工藤由比	工藤由比	工藤由比	工藤由比	若村邦彦
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	工藤由比	石田文生	辰川貴志子(第2,4)	櫻田博史	山村冬彦	遠藤俊吾		
			医局員		岩下方彰(2)			工藤進英(特診)			
循環器センター	磯村直栄	丸田一人	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		芦田和博	伊藤篤志(心臓血管外科)	医局員
			御子柴幸		大動脈外来		藤倉寿則			西巻博(第3)	
			上村 茂(先天性心疾患)						上村 茂(先天性心疾患)		
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般統合失調症)		櫻井英里子		堀 宏治(精神全般認知症)		秋元洋一(精神全般統合失調症)		吉益晴夫(精神全般・記憶障害・7117症)		西岡玄太郎(精神全般・うつ病)
メンタルケア(再)	板垣太郎		秋元洋一		西岡玄太郎		吉益晴夫		工藤行夫		堀 宏治
メンタルケア(再)	谷 将之		太田晴久		内田充彦		黒澤顕三		青山 洋		小城幸乃
メンタルケア(再)			医局員		伊川太郎		堀 宏治(物忘れ外来)		医局員		医局員
内科(緩和ケア)						新井一成				中村明央	
内科(23-2)	宮下耕一郎(一般内科)	山本真寛(一般内科)	中澤あい(一般内科)	宮下耕一郎(一般内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)	中澤あい(一般内科)	熊田千晶(一般内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)			衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	熊田千晶(一般内科)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)
内科(25-1)	榊田宗太郎(内科神経)		土屋静馬(一般内科)	中山文義(腎第1火休診)	榊田宗太郎(内科神経)				土屋静馬(一般内科)		
内科(25-2)		井上 穰(内分泌・代謝)			木村 聡(内科・感染症)					医局員	医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)		小林功治(一般内科)	田口 進(内科消化器)				渡邊浩之(1,3(一般内科))
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荻原 徹(糖尿病、内分)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荻原 徹(糖尿病、内分)	富田高重(第1(内科消化器))	荻原 徹(糖尿病、内分)
内科(25-6)	吉田典世(一般内科)	伊東友弘(内科腫瘍)		吉田典世(一般内科)	女性専門外来(予約のみ)	伊東友弘(内科腫瘍)	緒方浩顕(内科腎臓)	成島道昭(一般内科)	伊東友弘(第4休診)(内科腫瘍)		緒方浩顕(内科腎臓)
内科(25-7)		成島道昭(一般内科)	辻 正富(糖尿病、内分)	辻 正富(糖尿病、内分)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分)	辻 正富(糖尿病、内分)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分)
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来	梅田 陽	乳児検診	医局員
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	710-717 外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3,4)	曾我恭司	717 外来	京田学是	710-717 外来	医局員
小児科	北澤重孝		野中善治	血液内科(4)心理相談	京田学是		松岡 孝	口腔発達(2,3)心理相談	井上真理	上村茂(心臓)	医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇)医局員(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造		佐々木雅美		濱口太造		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	濱口太造		宋 寅傑		濱口太造					光線療法外来	
皮膚科(再16-2①)	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	鈴木佳宜	外科手術	鈴木佳宜	外科手術	佐々木雅美	外来手術	医局員
皮膚科(再16-2②)	松村卓美		松村卓美				松村卓美		松村卓美		
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成	井関雅一(偶)岩波正英(3)	中村明央	岩波正英(第2,4)	中村(奇)新井・山崎(偶)
外科			福成信博		山崎智巳		木庭雄至(予約のみ)	兼坂 茂(予約のみ)	福成信博		
形成外科	大塚尚治	美容外科ヒールンク	医師限定		鎌田理恵(偶)岡本典子(奇)		医師限定		大塚尚治		大塚尚治(奇)岡本典子(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	【手術日】		池田尚人	(退院後外来)	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝
脳神経外科(再診)											池田尚人
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		定方博史		医局員
整形外科	川崎恵吉		石田将也		定方博史		川崎恵吉		石田将也		
産婦人科初診(12-7)	佐々木康(奇)安藤直子(偶)		高橋 諄(苅部瑞穂)		高橋 諄(御子柴尚郎)		小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科産科I(12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		佐々木康		御子柴尚郎		
産婦人科産科II(12-6)	隅 靖浩				特殊診予約のみ		安藤直子				特殊診予約のみ
産婦人科婦人科I(12-8)	小川公一		安藤直子		特殊診予約のみ	佐々木康	高橋 諄		近藤哲郎		特殊診予約のみ 医局員
産婦人科婦人科II(12-6)			隅 靖浩		御子柴尚郎						
産婦人科婦人科III(12-6)			清河 翠								
泌尿器科(初診11-1)	青木慶一郎	椎木(検査)予約のみ	椎木一彦		菅原 草	深澤(再診)予約のみ	井上克己	鈴木俊一(奇)小川雄一郎(偶)	島田 誠		医局員(初再診)
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	菅原 草		青木慶一郎		椎木一彦	菅原(検査)予約のみ	井上克己	丸山邦隆(検査)予約のみ	丸山邦隆(検査)予約のみ
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ	特殊検査予約のみ
眼科	井上吐州	特殊診(井上)	小池正直	特殊診(中村)	井上吐州		小池正直	特殊診(小池)	井上吐州		小池正直(奇)中村 徹(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	中村 徹	特殊診(中村)	井上吐州(奇)岡田法子(奇)
眼科	岡田法子	特殊診(岡田)	岡田法子		岡田法子		岡田法子	特殊診(岡田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸(初診)	腫瘍甲状腺外来予約のみ	石田 良(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来奇数週予約のみ	油井健史(初診)	いびき外来予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	大嶋健三郎(再)						門倉義幸(再)				
耳鼻咽喉科13-3①	柳裕一郎(再)						石田 良(再)				
耳鼻咽喉科13-3②	油井健史(再診)					補聴器外来K予約のみ		補聴器外来予約のみN		歯科器具予約のみ	

◎放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二医師です。

◎リハビリ科外来日は、火曜日午後： 真野英寿医師です。